

JEOL JMS-T100LP

飛行時間型質量分析計



対応イオン化法

ESI, APCI

通常測定質量範囲

m/z 150~2,000

設定分解能

6,000 (m/z 609, 半値幅)

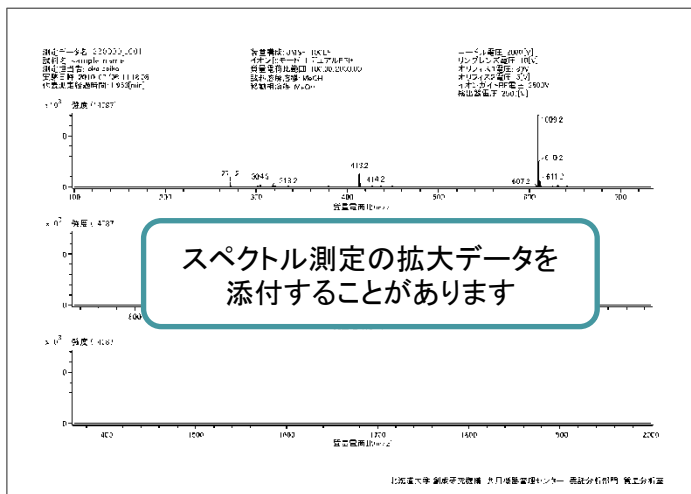
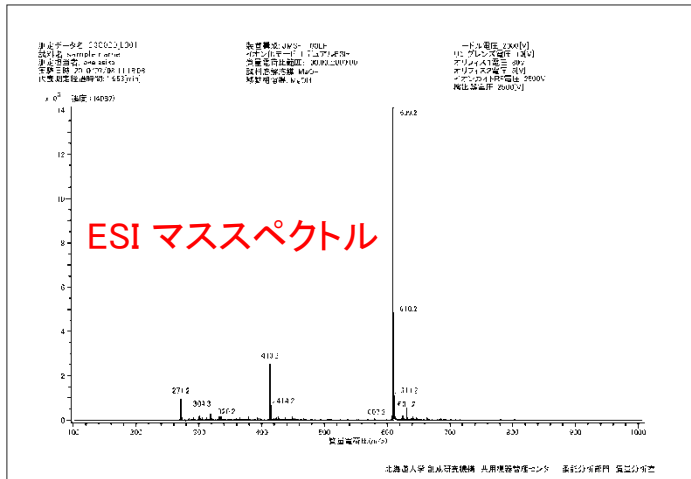
質量精度

<5ppmまたは
2 μ (外部標準)

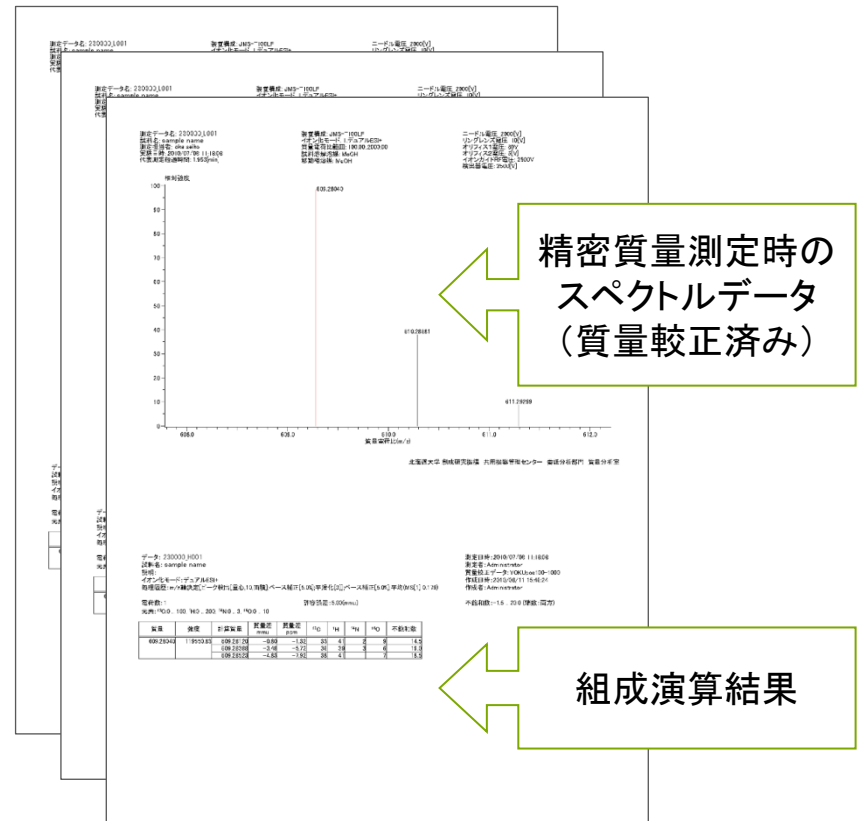
返却データ様式

(スペクトル測定結果・精密質量測定結果)

スペクトル測定結果



精密質量測定結果



3枚で一組 (任意の3点のデータを抽出)

ヘッダーの読み方

<p>測定データ名: 230000 L001 (1) 試料名: sample name 測定担当者: oka seiko 実験日時: 2011/07/08 10:06:41 代表測定経過時間: 0.309 [min]</p>	<p>装置構成: JMS-T100LP イオン化モード: 1:デュアルESI+ 質量電荷比範囲: 100.00..2000.00 試料溶解溶媒: MeOH 移動相溶媒: MeOH</p>	<p>ニードル電圧: 2000[V] リングレンズ電圧: 10[V] オリフィス1電圧: 80V オリフィス2電圧: 5[V] イオンガイドRF電圧: 2500V 検出器電圧: 2000[V] (2)</p>
--	---	--

(1) 測定データ名の表記

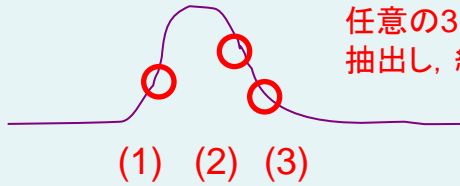
- ① 受付番号
- ② L : スペクトル測定, H : 精密質量測定
- ③ 測定回数

230000-L001
① ② ③

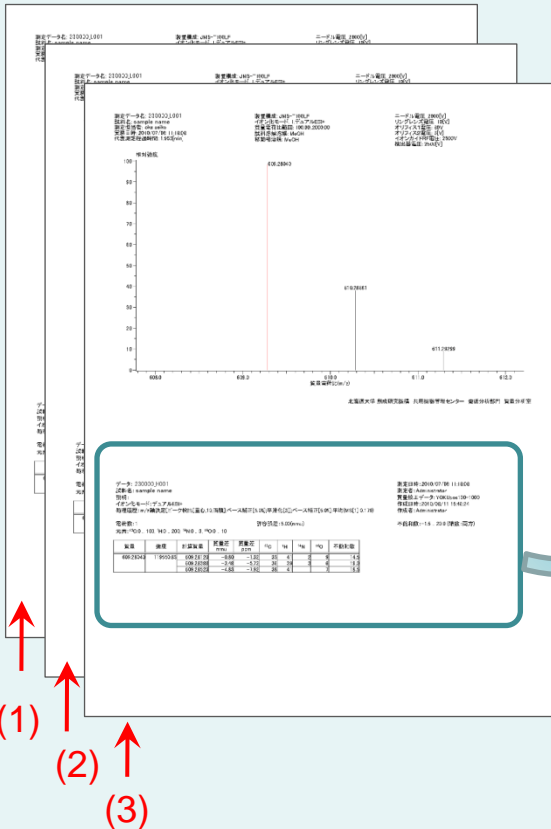
(2) 測定条件等の表記

- * ESI-MS, APCI-MSは溶媒に溶解する必要があります。
使用溶媒によっては対象試料が安定に存在できない場合も考えられます。
- * 使用溶媒の種類については、特に注意してご確認下さい。
- * できるだけ極性溶媒を使用することが感度UPにつながります。
- * 極性溶媒中の安定度を時間単位で教えていただけると助かります。

データの読み方 (精密質量測定結果) T100GCv, T100LP共通



任意の3点の質量較正済みデータを抽出し、組成演算を行います。



データ: 230000_H001
 検体名: sample name
 分析モード: デュアルESI+
 経路: m/z 精決定 [ピーク検出 [重心, 10 面積] ベース線補正 [3], ベース補正 [5.0%] 平均 [MS [1] 0.179]

① ② ③

測定日時: 2010/07/08 11:18:08
 検定者: Administrator
 校正データ: YOKUos100-1000
 検日時: 2010/08/11 15:46:24
 検定者: Administrator
 不飽和数: -1.5 ~ 20.0 (増減: 同方)

試料数: 1
 元素: ^{12}C : 0.100, ^1H : 0.200, ^{14}N : 0.3, ^{16}O : 0.10 許容誤差: 5.00 (mmu)

質量	強度	計算質量	質量差 mmu	質量差 ppm	^{12}C	^1H	^{14}N	^{16}O	不飽和数
609.28040	119550.83	609.28120	-0.80	-1.32	33	4	2	9	14.9
		609.28388	-3.48	-5.72	36	39	3	6	19.0
		609.28523	-4.83	-7.92	38	4		7	18.5

- ① 含有元素組成の指定.
- ② 許容誤差範囲を設定.
- ③ 化合物の不飽和度を設定.